青森市での創業の店

八甲田山慰霊碑改修工事

お墓のデザイン　そのルーツは戦後 キリスト教などのお墓から、日本風にアレンジ

ヨーロッパ彫刻

具体的でわかりやすい表現　科学技術の発展につながる

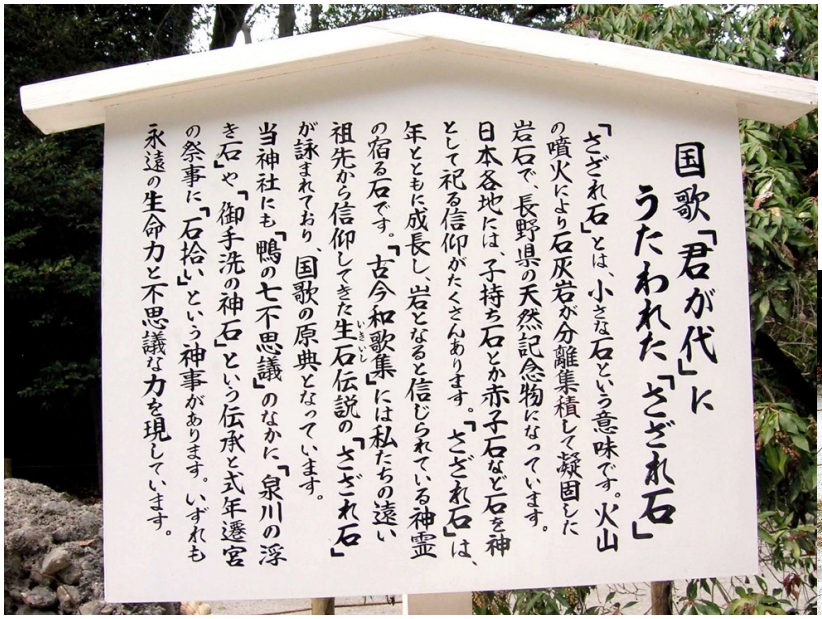
ミケランジェロの傑作

イタリアの彫刻工房がレプリカを製作

イタリア系職人が製作 アメリカの霊園

アメリカ ケンタッキー州ルイビル 消防士の慰霊碑

子供を助けている消防士の像



第43038号 （第三種郵便物認可）

東奥日報 2011/05/19 朝刊

博物館のお宝

八戸・新収蔵資料展から

下村 恒彦

3

江戸時代の身分証明書

寺請状之事

東円寺が発行した「寺請状之事」

「寺請状之事（てらうけじょうのこと）」は江戸時代の古文書で、当時の身分証明書のような書類です。

江戸時代の人々は、幕府によって必ずいずれかの寺院に所属して檀家（だんか）となるように義務付けられ、各寺院では、檀家の名前や家族構成等を「宗門人別帳（改帳）」に書き留めました。これは、現代でいえば戸籍のようなものに当たります。これをもとに各寺院が檀家に対し寺請状を発行しました。

ただし、寺請状の用途については、よく事典などには、旅行や引っ越しのときに必要とされた書かれていますが、実は、どのような場合にかなる使われ方をされたのか、まだよく分かっていないようです。

今回、博物館が寄贈を受けた寺請状には、次のように書かれています。

寺請状之事
一、曹洞宗　豊山寺拝
地下斗賀村　手廻ノ
四人之内男弐人女弐
人　松太郎
右者代々禅宗ニ而当
寺檀那ニ紛無御座候

若以来御法度切支丹
宗門之由脇より訴人
於有之者拙寺罷出急
度可申披可候為後日
之寺請状依而如件

この寺請状の年代は嘉永元（1848）年で、檀家である下斗賀村の松太郎に発行したものです。

松太郎は代々の禅宗であり、曹洞宗の東円寺に属する檀家であること、家族構成は、松太郎を加えて5人家族であることを証しています。

松太郎の住所は豊山寺拝地の下斗賀村と書かれており、豊山寺の宗派は真言宗で、八戸藩の祈祷（きとう）寺として所領が与えられていました。

東円寺は当時八戸藩内（現・南部町斗賀）にありましたが、盛岡藩領浅水村宝福寺の末寺と書かれております。

文末に岩山守渡、中里弥五右衛門の名がありますが、両名とも当時の八戸藩の要職である目付職に就いていて、岩山は寺社奉行をしています。

この文書からは、真言宗の豊山寺に年貢などを納め、一方で曹洞宗の東円寺の檀家であるという、松太郎の複雑な立場が垣間見えます。

（八戸市博物館学芸員）

三井二木会物故者供養塔 京都真如堂

大本山総持寺 故石原裕次郎氏のお墓

浄土宗総本山知恩院

法然上人の御遺骨をお祀りする御廟

お墓の基本

供養

香仏様に差し上げる 華美しさを伝える 燭知恵の光で導く

追善

故人の冥福を祈って遺族が善事を行う

荘厳 しょうごん

仏像や仏堂を美しくおごそかに飾る